Town Topics まちゅわだい

おめでとうございます 100歳



シヅモさん (花園町) 大正1年8月15日生

水俣市の湯の鶴温泉などへの旅行が思

旅行も好きで、富山県の黒部ダムや

い出とか。長生きの秘訣は「くよくよと

くさんの友達と仲良く遊ぶこと」。

月1回山登りを楽しんだシヅモさん。

好きで、80歳ぐらいまではグループで毎

山に登って花を観察したりするの



稲本 政由さん (大福寺町) 大正1年8月10日生

由さんの日記を見ると正確に分かるそ け、その数5冊以上。家族の出来事は政

けていることと、人に喜んでもらえる うです。長生きの秘訣は「日記を書き続 8人」としっかり答える政由さん。

昭和31年からずっと日記を書き続

へ、孫が20人、ひ孫が44人、やしゃ孫が

子や孫のことを尋ねると「子ども8



蓑田 ツル子さん (平山新町) 大正1年8月8日生

さんなどに何着もセーターを編んだそ

うです。好き嫌いなくよく食べることが



田 マツヱさん (昭和同仁町) 北田

大正1年8月8日生

後も、一人で店を切り盛りする傍ら、娘 菓子や雑貨を扱う店を営んできました。 紙)の管理人をし、その後、平山新町でお 裁縫や編み物が得意で、夫を亡くした

たそうです。家族によれば、そうした若 **家製のにんにく卵黄を飲んだりしてい** ながら8人の子どもを育て上げました。 采園で色々な野菜を作って食べたり、自 い頃からの積み重ねが長生きの秘訣だ 若い頃から健康に大変気を使い、家庭 泉町から昭和同仁町に嫁ぎ、農業をし

ソフトボール公式球場が完成

地域の活性化にも期待



▲ソフトボールファン待望の公式球場

ネットを設置し、バックネット、シェルター、

フラッグポール、ベンチなどが整備されてい

を開催できるように、規定の位置にフェンス

この球場は、ソフトボール競技の公式試合

球場が1面完成し、7月22日落成式が行

球磨川スポーツ公園内にソフトボール公式

代表が力いっぱいバットを振ると、一球ごと に会場から大きな歓声が沸きあがりました。 ムによるホームラン競争もあり、各チームの 用して市外からも公式試合を誘致し、地域の **冶性化につなげたいと話がありました。** (が特大ホームランを打ちました。 式典では、福島市長から、この広場を有効活 結果は、飛び入り参加の堤大介さんただ また、落成式後に市内のソフトボールチー

子どもたちの交通事故防止に役立てて

JA共済が小学生向け交通安全教育DVDを贈呈



▲DVDが入ったファイルを吉田浩一教育長に手渡す 赤星勘次 八代地域農業協同組合副会長(左)

協会の監修のもと、小学生とその保

護者向けに作成したものです。

全国の小学校に教育委員会を通じ

もらおうと、日本交通安全教育普及 ちの交通事故の未然防止に役立てて 組合連合会(JA共済)が、子どもた

支援を続けていきたい」と話しまし 子どもたちが安全・安心に暮らせる は小学校全31校に1セットづつ配布 て無償配布される予定で、八代市で 赤星副会長は、「これからも地域の

副会長らが7月13日、教育長を訪れ、 小学生向け交通安全教育DVD」を 市内小学校へ「JA共済オリジナル 八代地域農業協同組合の赤星勘次

贈りました。

このDVDは、全国共済農業協同

第7回 八代市童話発表大会



浮かべながら聞き入る人の姿が見られました。

多く、子どもたちのすばらしい発表に、会場には、

豊かな人間性を育成するために実施されています。

この大会は、子どもたちの、読書意欲の向上を図り

今年は「命、戦争、環境、社会問題」を取り上げた話が

会が開催されました。

、パトリア千丁で第7回八代市童話発表大

は、「話しかけや間の取り方、声の強弱を交えるなど ってきました」と講評しました。 |愛||をもって生きていることが子どもたちから伝わ [いていて満足しました。時代や状況の中で人々が 審査委員の中村和子学校図書館連絡協議会会長

た「お父さんへの千羽鶴(著者:ときたひろし) しめ、特攻隊として戦場へ向かう父親の心境を書い ふれあいや別れを訴えるように発表しました。 寺川さんは、10月20日に開催される第51回熊本県 審査の結果、最優秀賞に選ばれたのは八千把小学 萌香さん。家族が折った千羽鶴を抱き

童話発表大会に八代市代表として出場します。

まちなかホームルームたまりんば内に 「まちなか図書室」オープン

ば」で、新聞や雑誌などが閲覧できるように なり、7月28日、「まちなか図書室」の看板が 長のために設置したものです。 だられました。これは、まちなか活性化協 新聞や雑誌、小説など蔵書は約600冊。 、商店街の賑わい創出と滞留時間延

スペース「まちなかホームルームたまりん

本町2丁目アーケード内のコミュニティ

ますなかホームたまりんじ きなが図

福島市長とまちなか活性化協議会 仁会長が看板を掲示

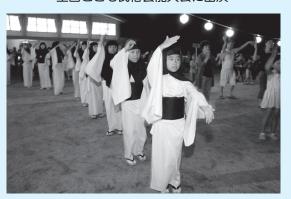
開館で、利用は無料です。 年中無休、午前10時~午後5時 めるカフェとしても利用できると 本を読みながらモーニングも楽し え、カフェ機能も充実しています。 コップ式の自動販売機なども備 持ち込みでの飲食が可能で、紙



▲ たまりんば内

盛況 植柳盆踊り

全国こども民俗芸能大会に出演



▲子どもたちにも伝統芸能が受け継がれています。

超える観客が集まりました。心中話の口 と祭り植柳盆踊り」が開かれ、300人を 頑張ってきます」と決意を語りました。 100人を超える住民が輪になって 白装束に黒頭巾の同保存会メンバーなど 伝わるゆったりとした「植柳盆踊り」を、 囃子の声が夜空に響く中、江戸時代から 説きの声と「ちょいちょい」「ヨイヤサ」の 安藤佑真くんは「八代の誇りとなるように 小中学生12人が紹介され、八代三中1年の で開催される「第14回全国こども民俗芸能 人会」に出演する植柳盆踊り保存会の地元 会場では、8月18日に東京の日本青年館 「植柳盆踊り」は平成13年に県の重 要無

ボランティアで石垣の除草作業

NPO法人しらさぎ



▲見る見るうちに、すっきりとなっていく石垣



▲高所作業の技が光る 身のこなし

が、8月4日、八代城跡と水島で除草作業 式会社)や協力会社の職員など132人

術を活かして、地域の誇りである文化財の 省する人たちに、きれいな石垣を見てもら けて、上下左右と身軽に移動しながら手や 活動として実施しており、今年が13回目 美化に貢献しようと、毎年、ボランティア えれば」と作業を見守っていました。 の回収は、小舟を使って行うなど、手際よ カマで除草。水際の除草や水面に落ちた草 んで石垣に垂らしたロープに安全帯を付 きりとなっていきました。 く作業が進み、みるみるうちに石垣がすっ 水島は5回目)。八代城跡では、樹木に結 代表の沼田百合子理事長は、「お盆に帰 電柱や送電線鉄塔など高所での作業技

形民俗文化財に指定されています。